

1 次の文章を読み、設問に答えなさい。なお、各資料は読みやすくなるように一部表現を変えています。

現在、世界では戦争があふれています。2022年2月にロシア＝ウクライナ戦争が始まりましたし、2023年10月にはパレスチナで紛争が激化しました。残念ながら、世界から戦争がなくなる気配はありません。ここで、少し立ち止まって考えてみましょう。

私たちは「戦争は悪いことだ」と思っています。しかし第一次世界大戦前の世界では、戦争は国際的に禁じられていませんでした。戦争は、各国の正当な外交手段の一つであり、とくにイギリス・フランスなどの列強と呼ばれる国々は植民地獲得のために戦争をしました。その結果、第一次世界大戦が起こってしまいました。

第一次世界大戦は(ア)年に始まったのち4年間も続き、全体で約802万人もの軍人の死者を出すことになりました。

このような悲惨な戦争を経験したことで、戦争の再発を防ごうという動きが始まりました。1920年に発足した国際連盟の規約では以下のように定められています。

[資料1] 国際連盟規約(一部)

第12条 連盟国は、連盟国間に国交断絶のおそれがある紛争が発生するときは、…(中略)…仲裁裁判官の判決後または連盟理事会の報告後三か月を経過するまで、どんな場合においても、戦争に訴えないことを約束する。(以下略)

国際連盟の仕組みには不十分な点もたくさんありました。まず国際連盟規約では紛争の平和的な解決が目指されていますが、戦争に訴えることも可能となっています。また、強国の利益が重視されました。例えばイギリスは、国際連盟からパレスチナなどの統治を任せられ事実上植民地としました。東アジアでは大戦中に日本が大陸の山東省などを占領しました。さらに日本は(イ)政府に^①二十一条の要求を突きつけて、山東省の鉄道を作る権利や鉱山を掘る権利などの引つぎを求め、大戦後にこれらを得ることに成功しました。

平和を保とうという意識は、大戦で戦場となったヨーロッパでは強かったのですが、東アジアでは日本による植民地の維持・拡大の動きが続きました。1921年

にワシントン会議が開かれ、中国の主権・独立の尊重と領土の保全が確認されたり、軍事力の制限が行われるなどし、^②日英同盟が廃棄されました。しかし、この会議は東アジアで存在感を強める日本をおさえることが狙いでした。この時は日本も欧米諸国に従わざるをえませんでした。

ヨーロッパでは再び戦争の危機を迎えます。^③大戦に敗北したドイツにきわめて多額の賠償金が課されることとなり、やがて払えなくなったのです。それに対して1923年フランスがドイツへ侵攻して、国境地帯であるルール地方を占領する事件が起こりました(ルール占領)。しかし欧米諸国は外交努力によって、戦争を回避することに成功しました。この経験から1928年には不戦条約が結ばれ、最終的に60か国以上の国が参加したのです。

[資料2] 不戦条約(一部)

第一条 条約に参加した国は、国際紛争解決のために戦争に訴えることを非難し、かつ、その相互の関係において国家の政策の手段として戦争を放棄することを、…(中略)…宣言する。

こうして、不戦条約で戦争はついに違法化され、戦争を禁止する動きが本格化します。戦争が正当な外交手段ではなくなった歴史的な出来事です。

ただし、この条約を締結するのに多大な貢献をしたアメリカの外交官は、以下のように述べています。

[資料3] 米国務長官ケロッグから在仏大使ヘリックへの政府公電

不戦条約の米国案は、いかなる点においても自衛権の制限…(中略)…を意味してはいない。…(中略)…各国は、いかなるときにも、諸条約の条項に関係なく、その領土を攻撃もしくは侵略から守る自由をもち、また自衛のための戦争に訴えるべきか否かを独自に決定する権利をもつ。

歴史学研究会編『世界史史料』第10巻、岩波書店、2006年

しかし1931年になると、経済状況の悪化などを打開するため、日本の陸軍の（ウ）軍は満州地方を占領し、この地方を不当に支配しました（満州事変）。（イ）政府が国際連盟へ訴え出て、リットン調査団が派遣されることになりました。日本は自衛権を主張しましたが、国際連盟が日本の主張を退けたため、日本は国際連盟脱退を表明しました。外交での交渉も実を結ばず、日本はさらなる勢力拡大を目指していきます。1937年には盧溝橋^{ろこうきょう}事件が起こり、ついに（エ）戦争が始まりました。

ヨーロッパにおいても、ドイツが周辺諸国を併合するようになり、イギリス・フランスが平和的な解決を試みますが失敗します。1939年には、ポーランド軍が国境をこえて攻撃してきたとして、ドイツもまた日本と同様に、自衛を口実としてポーランドへ攻め込みました。世界は再び世界大戦へと突入していくことになったのです。

このようにおよそ100年前に、すでに戦争は違法化されたのです。一方ですべての戦争が禁止されたわけではなく、いまだに戦争は起こっています。現在の日本では、しばしば憲法第九条と自衛権について議論が行われます。これは戦争が違法化された現在、^④「戦争と平和」を考えるうえで一番重要な部分であるのです。またロシア＝ウクライナ戦争があからさまな侵略だったことから、戦争をどう防ぐのが再び問題となっているのです。

問1 （ア）～（エ）にあてはまる語を答えなさい。

問2 下線部①について、このときに日本はある国が持っていた山東省などの権利を獲得しました。この国はどこか、答えなさい。

問3 下線部②について、日英同盟が結ばれた時期はいつですか。出来事が起こった順に正しく並べられているものを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 日英同盟の結成 → 日清戦争の開戦 → 日露戦争の開戦 → シベリア出兵
- イ 日清戦争の開戦 → 日英同盟の結成 → 日露戦争の開戦 → シベリア出兵
- ウ 日清戦争の開戦 → 日露戦争の開戦 → 日英同盟の結成 → シベリア出兵
- エ 日清戦争の開戦 → 日露戦争の開戦 → シベリア出兵 → 日英同盟の結成

問4 下線部③について、第一次世界大戦の講和会議が開かれた国はどこですか、答えなさい。

問5 第一次世界大戦後、ヨーロッパでも東アジアでも特定の地域をめぐる国同士の対立が起こりましたが、異なる結果となりました。以下について、本文の内容から言えることを指摘しなさい。

A 1923年のルール占領による対立はどのような結果となったのか、説明しなさい。

B 1931年の満州事変による対立はどのような結果となったのか、説明しなさい。

C ルール占領と満州事変は異なる結果となりましたが、それはどうしてでしょうか。ヨーロッパと東アジアそれぞれが経験したことに注目して説明しなさい。

問6 下線部④について、以下に答えなさい。

A 戦争の位置づけについて、本文と資料で述べられていることとは異なるものを次のア～エから2つ選びなさい。

ア 第一次世界大戦より前の時代から戦争は禁止されていた。

イ 国際連盟規約では、紛争は国際連盟の仲裁で解決するよう定められたが、この間も戦争を継続してもよいと定められた。

ウ 国際連盟規約では、仲裁裁判官の判決後や国際連盟理事会の報告後、三か月が経過すれば、戦争を行うことができた。

エ 不戦条約では、自衛のための戦争は制限されていない。

B 戦争は国際的に違法化されたのに、いまだに戦争がなくなるのはどうしてですか。本文と資料の内容から言えることを指摘しなさい。